

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
【部門区分】 第 3 部門第 2 区分  
【発行日】 平成 17 年 12 月 22 日 (2005.12.22)

【公表番号】 特表 2004-537540 (P2004-537540A)  
【公表日】 平成 16 年 12 月 16 日 (2004.12.16)  
【年通号数】 公開・登録公報 2004-049  
【出願番号】 特願 2003-508413 (P2003-508413)  
【国際特許分類第 7 版】

A 6 1 K 31/727  
A 6 1 K 9/14  
A 6 1 K 38/22  
A 6 1 K 38/23  
A 6 1 K 38/27  
A 6 1 K 38/28  
A 6 1 M 37/00  
A 6 1 N 1/30  
A 6 1 P 5/06

【F I】

A 6 1 K 31/727  
A 6 1 K 9/14  
A 6 1 M 37/00  
A 6 1 N 1/30  
A 6 1 P 5/06  
A 6 1 K 37/36  
A 6 1 K 37/26  
A 6 1 K 37/24  
A 6 1 K 37/30

【手続補正書】  
【提出日】 平成 16 年 12 月 2 日 (2004.12.2)  
【手続補正 1】  
【補正対象書類名】 特許請求の範囲  
【補正対象項目名】 全文  
【補正方法】 変更  
【補正の内容】  
【特許請求の範囲】  
【請求項 1】

哺乳動物の真皮に投与するための医薬の製造のための組成物の使用であって、投与したとき、組成物を皮下に注射した際に生じる吸収と比較して改善された全身吸収が生じ、そして組成物が成長ホルモン、低分子量ヘパリンまたはドーパミン受容体アゴニストを含む前記使用。

【請求項 2】

成長ホルモン、低分子量ヘパリンまたはドーパミン受容体アゴニストを含む組成物を哺乳動物に投与するためのデバイスであって、組成物の全身吸収を達成するためにデバイスが組成物を真皮内へ選択的に送達するように構成された、エレクトロポレーション注射システムまたはサーマルポレーション注射システムである前記デバイス。

【請求項 3】

哺乳動物の真皮に投与するためのキットであって、成長ホルモン、低分子量ヘパリンまたはドーパミン受容体アゴニストを含む組成物を含み、前記組成物を真皮に投与したとき

、組成物を皮下に注射した際に生じる吸収と比較して改善された全身吸収が生じる前記キット。

【請求項 4】

哺乳動物に組成物を投与するためのデバイスをさらに含み、前記デバイスが、組成物の全身吸収を達成するために組成物を真皮内へ選択的に送達するように構成された、エレクトロポレーション注射システムまたはサーマルポレーション注射システムであるデバイスである、請求項 3 記載のキット。

【請求項 5】

投与がボーラス注射によるものである、請求項 1～4 のいずれかに記載の使用、デバイスまたはキット。

【請求項 6】

組成物がナノ粒子の形状である、請求項 1～4 のいずれかに記載の使用、デバイスまたはキット。

【請求項 7】

投与が少なくとも 1 本の中空針、エレクトロポレーションまたはサーマルポレーションによるものである、請求項 1～3 のいずれかに記載の使用またはキット。

【請求項 8】

少なくとも 1 本の中空針がマイクロニードルのアレイを含む、請求項 7 に記載のキット。